

第 157 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(令和 3 年度 第 2 回)

- ・日 時 令和 3 年 5 月 26 日 (水) 15:00～16:00
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、
犬塚国際関係学部長、林地域政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田
人間文化学部長、濱田北東アジア開発研究科長、吾郷看護学研究科長、
狩野別科長、福原教務部長、大森教務部長、高橋教務部長、村山学生
生活部長、今中学生生活部長、マユールあき学生生活部長、李北東アジ
ア地域研究センター長、小池事務局長

- 第 156 回教育研究評議会の議事要旨の確認について
第 156 回教育研究評議会の議事要旨について、原案のとおり承認された。

《共通審議事項》

- (1) その他
なし

《共通報告事項》

- (1) 島根県立大学（看護栄養学部、人間文化学部）・島根県立大学短期大学部
令和 4 年度入学者選抜要項及びアドミッション・ポリシー改定について
松崎アドミッション室長から、島根県立大学（看護栄養学部、人間文化学部）・
島根県立大学短期大学部令和 4 年度入学者選抜要項及びアドミッション・ポリシー
改定について、資料（略）により報告があった。また、入学者選抜要項の公表は、
7 月末までに行うと説明があった。

- (2) 魅力化推進本部の体制について

小池事務局長から、魅力化推進本部の体制について、資料（略）により報告があ
った。

濱田北東アジア開発研究科長より、企業奨学金について今年度の対象学生と期間
について質問があり、小池事務局長から、前倒し実施の対象は今年度の 3 年生 3 キ
ャンパスで 8 名、期間は今年度の秋学期、来年度の春学期、秋学期であると回答が
あった。また、企業との連携による有償型インターンシップについては、来年度の
実施を目指すとの回答があった。

清原学長より、広報として山陰中央新報へ本学の記事を年 4 回掲載すると説明が
あった。

村山学生生活部長より、魅力化推進本部の「魅力」の定義について確認があり、

清原学長から、「魅力」の定義について次回教育研究評議会までに検討したいとの発言があった。

(3) 大森まちなか図書館（仮称）について

井上副学長から、大森まちなか図書館（仮称）について、資料（略）のとおり報告があった。

(4) 令和2事業年度業務実績報告(案)について

的場企画調整室長から、令和2事業年度業務実績報告（案）について、資料（略）のとおり報告があった。

(5) その他

なし

《審議事項》

(1) 客員研究員の受入れおよび科研費応募資格の付与について

林地域政策学部長から、客員研究員の受入れおよび科研費応募資格の付与について、資料（略）のとおり説明があり、承認された。

(2) 令和3年度の臨床教授等の推薦について

梶谷学部長から、令和3年度の臨床教授等の推薦について、資料（略）のとおり説明があり、承認された。

(3) その他

なし

《報告事項》

(1) 北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて、資料（略）のとおり報告があった。

(2) 研究者版eポートフォリオの「ENISHI」について

石橋副学長から、研究者版eポートフォリオの「ENISHI」について、資料（略）のとおり報告があった。

(3) その他

石田次長から口頭により、新型コロナウイルスの県内及び県外の状況について情報提供があった。

清原学長から口頭により、教員評価の現行制度の見直しについて、次回の教育研究評議会で提案をすると報告があった。

清原学長から口頭により、各キャンパスの教員の定数を策定していきたい旨が伝えられ、今後の教育研究評議会で提案をすると報告があった。

次回開催予定：令和3年6月23日（水）